

令和5年度 佐伯市環境美化大賞（標語の部）受賞者

（敬称略：優秀賞・順不同）

テーマ 『さいきオーガニックシティの実現に向けて』
 ・ゼロカーボンシティ（2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ）実現に向けた取組、プラスチックごみ削減のための取組を呼びかける標語
 ・花を通じたまちの緑化や環境保全のための取組を呼びかける標語

受賞区分	最優秀賞
受賞作品	ひとつエコ みんなですれば すごいエコ
受賞者	<small>オオスギ マサキ</small> 大杉 征暉 切畑小学校 1年
選考理由	エコ活動は「大きな輪」になることであり、個人の小さなエコをみんなで行えば、大きな成果に繋がることを強調しており、記憶に残る作品である。

受賞区分	優秀賞
受賞作品	リサイクル きれいな未来の 実現へ
受賞者	<small>ササキ アイリ</small> 佐々木 愛理 日本文理大学附属高等学校 3年
選考理由	スマートな表現で、標語として馴染む作品である。

受賞区分	優秀賞
受賞作品	捨てるゴミ 正しく分けて 再資源
受賞者	<small>ヤマモト キョウカ</small> 山本 響華 佐伯豊南高等学校 2年
選考理由	日常生活の中で、ひと手間かかるが正しく分別することが、ゴミの再資源化に繋がることを表現した作品である。

受賞区分	優秀賞
受賞作品	ゴミ減らす ひとりひとりの 心がけ
受賞者	<small>ニイナ イツト</small> 新名 一斗 日本文理大学附属高等学校 1年
選考理由	常日頃からこうした意識を持ってほしいという気持ちが伝わる作品である。

受賞区分	優秀賞
受賞作品	さいりよう ゴミから宝へ 大変身
受賞者	<small>マツモト マオ</small> 松本 愛央 彦陽中学校 1年
選考理由	「ゴミから宝へ」大変身という発想が前向きでドラマチックな作品である。

受賞区分	優秀賞
受賞作品	リサイクル みんなの未来を 守るため
受賞者	<small>ヒヨシ コスケ</small> 日吉 虎輔 佐伯小学校 6年
選考理由	リサイクルは、私たちの未来を守るための行動であることを伝え、促す作品である。

受賞区分	優秀賞
受賞作品	花植えて 地域も空気も 美しく
受賞者	<small>オノ モモカ</small> 小野 百香 宇目緑豊中学校 3年
選考理由	各地域で花を植えることによって、地域も空気も美しく見えてくることをイメージした作品である。